

「大阪の近代剣道界から学ぶ武道ツーリズム」

柴田洋一

【目的】(1)大阪の近代剣道界が、当時、人々の人気を博した魅力を史料から再発見する。(2)それらをもとに、旧来の興行とは一線を画し、国内外の観光客のニーズに対応できる、本格的な「武道ツーリズム」についての提言を大阪から発信する。

【内容】1 問題意識：日本の現代武道は、日本文化としての伝統的側面と、スポーツとして心身を鍛える教育的側面とをあわせもつ融合的存在ととらえることができる。本来、武道がもつ魅力とは、心身の鍛錬を通じて、己れの弱さに打ち勝つプロセスにあり、その役割は人々の平和のために役立つ人材の育成にある。

政府スポーツ庁は2016年より「スポーツ文化ツーリズム」を推進する上で、その需要拡大戦略において、スポーツと日本の文化芸術資源を融合させて「武道ツーリズム」を設定した。とくに武道（柔道・空手・剣道・合気道など）と大相撲は、日本発祥・特有の「みる・するスポーツ」として、世界の関心が高く、国内及び訪日旅行者の誘致に大いに強みを期待できる。武道は海外でも愛好家が多く、日本文化への関心が高い層に対しても、発祥地である日本への関心や訪日意欲を喚起できるからである。課題は受入体制やコンテンツの整備・洗練で、既に沖縄県、福島・群馬・茨城3県、山形県で取り組まれている。

2 進め方：(1)歴史的研究では、明治期以降の大阪において、①撃剣興行の盛衰、②警察剣道の隆盛、③大阪武徳殿等での稽古について研究を深める。(2)「武道ツーリズム」の提言では、①平日昼間の時間帯に空きのある施設や防具を活用して、観光客向けに剣道体験事業を創出する。②外国人留学生と連携して、大阪で開催される剣道大会の紹介を外国語で発信し、体験コーナーを設けて多くの観客を誘致する。③大阪の「武道ツーリズム」の核として、国際大会も誘致できる「大阪武道センター」を構想する。

【結果】(1)①大阪の撃剣興行についての史料、②大阪府警での稽古や大会等の記録、③大阪武徳殿の設計図や稽古等の記録を再発見し、大阪が撃剣見世物の発祥地であり、鏡心明智流が中心と分かった。(2)については「剣道プラットフォーム」の構想までであった。

<おもな参考文献>『明治見世物興行年表』(blog.livedoor.jp / misemono / archives / cat_50046848) (2014/02/14 作成)、大塚忠義 1995「撃剣興行の登場と衰退」、『日本剣道の歴史』窓社、小佐野淳 2006「講武所剣術師範 鏡心明智流 (桃井春蔵直正)」、『概説・武芸者』新紀元社、中井憲治 2012「警視流立居合に関する研究」、『仙台大学紀要』44(1)、中嶋哲也 2017「第1章 撃剣興行と警察武術(第1部<術から道へ>—嘉納治五郎と講道館柔道の成立)」、『近代日本の武道論—<武道のスポーツ化>問題の誕生』、国書刊行会、剣道時代編集部 2005『私の剣道修行』第一巻 体育とスポーツ社、大阪市立中央図書館『朝日新聞聞蔵Ⅱビジュアル』、大林組 1961『大林組70年略史』、片岡茂範士『大阪府警察のあらまし』、『明治2・3年の府職員録浪華隊名簿』(大阪府立中之島図書館)、山中善三郎「明治26年日本武術名鑑」(伊丹市立博物館)、小西家『撃剣興行番付』(伊丹市立博物館)、小林義孝(2019)「撰河泉の陣屋」『大阪春秋 No175 大阪城の研究』新風書房、剣道プロジェクト石塚一輝.com(<https://ishizukakazuki.com/category/kendo/>) (2019.10.20)

令和元年度 大阪府立大学大阪検定客員研究員 研究成果報告



テーマ名：**大阪の近代剣道界から学ぶ武道ツーリズム**

発表者氏名：柴田 洋一

主催：大阪府立大学研究推進機構

協力：大阪商工会議所

大阪の近代剣道界から 学ぶ武道ツーリズム



柴田洋一

2018年、政府スポーツ庁が**武道**ツーリズムを推進

「スポーツ資源」を活用したインバウンド拡大の環境整備

(新 規)
令和2年度概算要求額：470,000千円

各地域が誇る地域資源とスポーツを掛け合わせたコンテンツの造成や磨き上げ、環境整備等を行うとともに、先進的に武道ツーリズムを推進する団体の取組をモデル的に調査・研究・分析し、横展開を図る。

また、人・物・施設等の資源情報データベースを構築し、マッチング手法を開発するとともに、新たなプロモーション等を実施する。

受入体制

コンテンツ造成・磨き上げ、環境整備

アウトドアスポーツや武道を活用した観光コンテンツを全国で創出し、インバウンドの地方誘客・消費拡大を促進するとともに、日本のプレゼンスを向上



写真提供：長野県観光機構

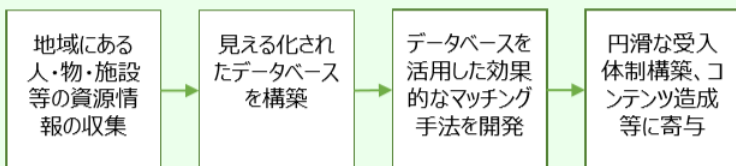
日本の自然資源を活用したアウトドアスポーツツーリズム
日本発祥・特有の武道を活かした武道ツーリズム



写真提供：沖縄県

人・物・施設ネットワーク形成

地域資源のネットワークを形成し、価値の最大化を図ること、インバウンドの満足度を向上させる体制を構築



プロモーション

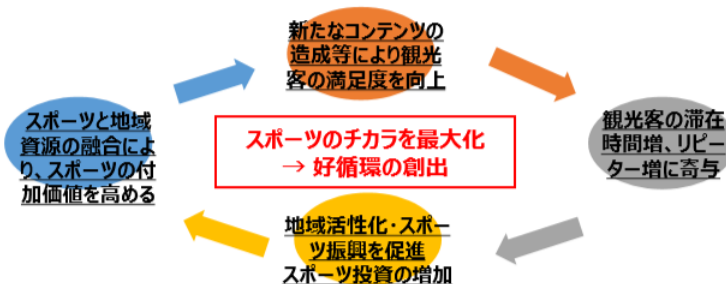
更なるインバウンド誘客プロモーション

- ①関係機関・団体の海外拠点や情報プラットフォームを活用した効果的な情報発信等を行うとともに、インバウンド拡大に向けたブランディングを推進
- ②最先端技術（AR・VR等）を活用した疑似体験コンテンツを整備し、地方部への誘客を促進



外国人観光客が
日本で経験してみたい
「見る」スポーツは
武道（柔道，空手，
剣道，合気道）

(2018.3スポーツ庁)



国土交通省スポーツ庁HPより

剣道の魅力 と 大阪剣道のブランド力

楽しみ方に二面性

<習得性と鑑賞性>

する楽しみ方・・・心身の鍛練

- 礼儀や所作の習得
- 自分の弱さの克服
- 武道具を扱う巧緻性
- 国内外の愛好家との交流

見る楽しみ方・・・演舞を見るような美しさ

- 一瞬の勝負の緊張感
- 勇敢さと謙虚さ・潔さ(サムライ・スピリッツ)
- 練度の高い技の冴え
- 剣道着・袴姿や体捌きの凛々しさ
- 造りこまれた武道具の美しさ

地域的な求心力

- 全国から優秀な選手が集う
- 常に全国優勝を狙えるレベル
大阪府警・パナソニック・大阪教育大学等
- 大阪で全国大会開催
春・全日本都道府県対抗剣道優勝大会
秋・全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会
- オール大阪での寒稽古・暑中稽古
- 八段の先生方が多く、毎日稽古できる
- 伝統を継承する市民道場が残る
大阪市立修道館、岸和田市立心技館等
- 他の武道も盛んで刺激が多い
柔道・空手・弓道・居合道・杖道・なぎなた等

⇒ 日本文化の継承

私のお勧めは、

大阪での剣道と観光



理由は4つ

- 1 剣道最高位の範士八段や教士八段と、質の高い稽古
(平日・夜間、大阪城の修道館)
- 2 大阪城は国内外の観光客に人気のスポット
(5分も歩けば、天守閣や融合施設のミライザへ)
- 3 大阪城の近辺には、まだ知られていない歴史的観光資源がある
- 4 関西国際空港から近い(1時間半)
(京都や奈良へも1時間)

する剣術の歴史は古い

江戸時代の大坂は、人口約40万人
商いの町と同時に、幕府の軍事都市
武士の人口は、約1万人

稽古場が大坂城代上屋敷、東町奉行所と隣の大坂代官屋敷、西町奉行所のほか、
各藩の蔵屋敷、周辺の各藩、町人地にも存在が確認できる。
幕末には、幕府の玉造臨時講武所(のちの陸軍所)も設置された

では、見る剣術はいつからなのか？

ところが

撃剣の見世物は同年1月から大阪で
難波新地にて弓馬鎗剣の試合
松島にて鎗剣長刀花棒の見世物

「花持（编者註：棒の間違いカ）ツカイ 是ハ鎗・刀・くさり鎌など仕合ニして、けんしゅつの通りニして、本ぬき身ニして仕合、元とりを切しをまけとすなり*1」

「難波新地にて弓馬鎗剣試合の看板を掲げて其修練を盡せり。

（小太刀）加藤幸助（十手）同藤九郎（長刀）藤三郎（鎗）新九郎

（長刀）渡辺庄三郎（鎖鎌）根笹重助（小太刀）同伊三郎

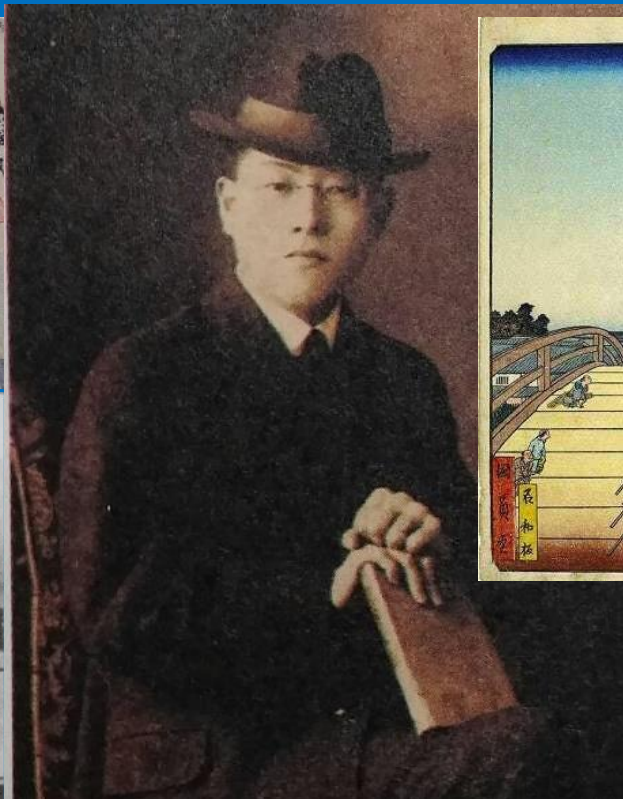
（十手）犬飼九郎左衛門（棒）森治平（竹刀）浅野文四郎、是ハ尾張人のよし。

松島には鎗剣長刀花棒の見せ物ありと。*2」

（*1『近来年代記』 / *2「日要新聞」5月74号）『日本初期新聞全集』52巻・346頁より転記。

引用『明治見世物興行年表』 [blog.livedoor.jp / misemono / archives / cat_50046848](http://blog.livedoor.jp/misemono/archives/cat_50046848) (2014/02/14作成)

幕末・維新には、たくさんの剣豪・剣客が大坂に集結



上 鏡心明智流 4代目
桃井春蔵直正



浪花隊

右 心形刀流
伊庭八郎

下 天然理心流
土方歳三



左 師範代の
秋山多吉郎

雑誌『剣道日本』より



大阪の撃剣興行の中心は 鏡心明智流だ

1879(明治12)年10月 西南戦争で勲七等の西田與三郎と馬場伊太郎
師匠の桃井春蔵直正を招いて
野試合形式で、2万人を超える見物客

1880(明治13)年から 秋山多吉郎が参加
火災盗賊等防止のための警護業も開始

1883(明治16)年5月 黒谷左六郎も参加
高知県から馬淵桃太郎一座も来阪
高橋赴太郎 対 川崎善三郎の試合(ともに無外流)



黒谷左六郎(明治36年)

出典：朝日新聞「聞蔵Ⅱビジュアル」

明治時代中期、武道で国威発揚 全国組織の創設

- 1895(明治28)年4月17日 **大日本武徳会**の結成
発起人 渡邊昇 (旧大村藩士、元大阪府知事(1877-1880))
各都道府県の警察を中心に、支部の結成

- **大阪**では、他の支部に遅れ、**1900(明治43)年3月23日に結成**
翌年、大阪武徳殿の建設着工

⇒ 撃剣興行や各流派の剣術より、大日本武徳会の剣道が盛んに

戦前は、大阪武徳殿が中心に 剣道・柔道・弓道の稽古

設計 松本禹象
式 純和風の木造建築、瓦葺きの二階入母屋造
屋根の上層には千鳥破風、下層には唐破風
起工 1910(明治43)年7月
竣工 1911(明治44)年11月
焼失 1945(昭和20)年3月13日深夜



大阪パノラマ地図(大正13年)



写真 大阪武徳殿

『大林組70年略史』(1961)より

提供 大林組歴史館

協力 荒田智康氏(総務部社史課)

修道館

現在の中心は

大阪市立修道館

(剣道・柔道・なぎなた・居合道)



大阪市立修道館HPより



剣道八段の先生方と

質の高い稽古

この色は修道館指導員

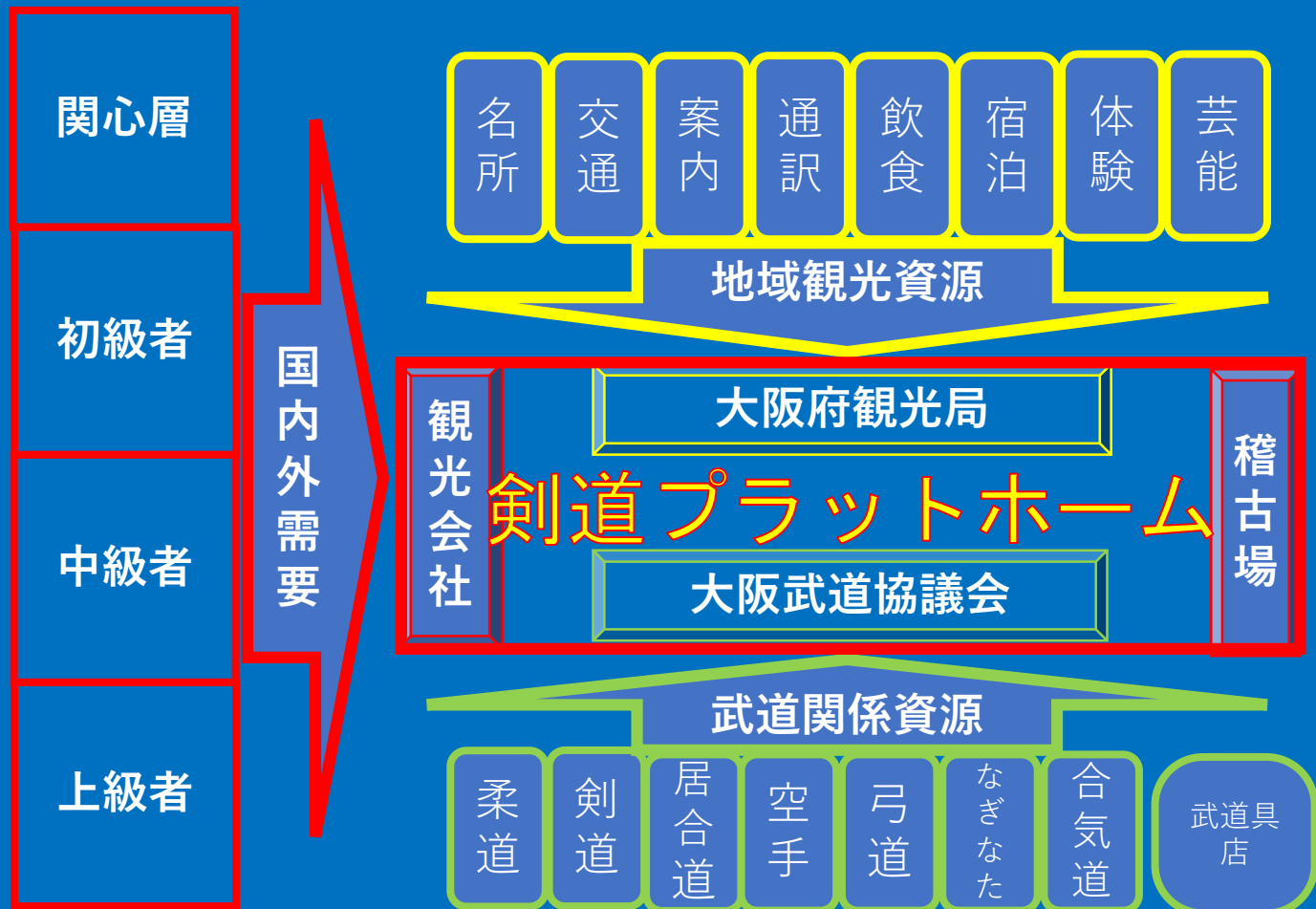
公益社団法人 大阪府剣道連盟
2020年度 HPより

園田 政治	(大阪剣道協会)	伊藤 壽	(大阪剣道協会)
小林 三留	(大阪剣道協会)	佐藤 誠	(四條畷剣友会)
島野 大洋	(大阪剣道協会)	新屋 誠	(大阪剣道協会)
塚本 徹男	(大阪剣道協会)	池田 正史	(東剣友会)
太田 友康	(教職員クラブ)	吉田 一秀	(教職員クラブ)
有馬 光男	(大阪剣道協会)	北村 宏二	(教職員クラブ)
島野 泰山	(大阪剣道協会)	松原 豊	(大阪剣道協会)
古市 満洲男	(大阪剣道協会)	松岡 俊雄	(大阪剣道協会)
作道 正夫	(教職員クラブ)	米崎 和広	(大阪剣道協会)
石田 健一	(大阪剣道協会)	宮本 一宏	(大阪剣道協会)
小川 功	(大阪剣道協会)	江藤 善久	(大阪剣道協会)
石塚 美文	(大阪剣道協会)	西川 潔	(教職員クラブ)
小坂 達明	(大阪剣道協会)	玉井 寛孝	(大阪剣道協会)
岩堀 透	(大阪剣道協会)	那須 信男	(教職員クラブ)
平井 憲三	(大阪剣道協会)	住野 圭市	(大阪剣道協会)
坂田 良一	(大阪剣道協会)	加藤 忠次	(大阪剣道協会)
太田 欣之	(なんば養正会)	石田 洋二	(大阪剣道協会)
船津 晋治	(大阪剣道協会)	笹月 繁	(教職員クラブ)
緒方 勇二	(教職員クラブ)	米村 幸生	(日曜会)
森 文男	(大阪剣道協会)	秋田 誠司	(大阪剣道協会)
花澤 博夫	(教職員クラブ)	松江 範満	(大阪剣道協会)
濱口 雅行	(教職員クラブ)	才 典浩	(大阪剣道協会)
牛草 英俊	(大阪剣道協会)	愛甲 和彦	(大阪剣道協会)
岸本 勝信	(大阪剣道協会)	中 寛和	(教職員クラブ)
山本 雅彦	(大阪剣道協会)	平野 良樹	(修道館クラブ)
神崎 浩	(教職員クラブ)	三浦 秀人	(大阪剣道協会)
山畑 阿威麿	(東大阪瓢箪山教室)	吉積 弘次	(教職員クラブ)
伊藤 好晴	(大阪剣道協会)	平田 裕亮	(大阪剣道協会)
矢野 信広	(大阪剣道協会)	中尾 真吾	(大阪剣道協会)
田頭 啓史	(箕面剣友会)		

以上 59名

剣道プラットフォームで繋ぐ

- 1 需給関係を繋ぐネットサービス
- 2 レベルに合わせて**昼夜のコンテンツ**の創造
- 3 ベースとなる企業体の活動支援



数時間	大阪城見学	昼食	武道体験	休憩・移動	早い夕食	芸能鑑賞	買物	ホテル泊
数日	① 観光と和体験		① 観光と和体験			町道場	居酒屋	民宿
数週間	② 散策と和体験		② 散策と和体験			修道館	仲間と	宿坊
数力月	③ 修行		③ 修行			修道館	師匠と	住込み

昼夜コンテンツ

昼間コンテンツの例

- ①観光と和体験 四天王寺界限にて和服姿で茶華道
- ②散歩と和体験 幕末コースと精進料理づくり
 - 浪華隊 桃井春蔵コース 天満～城南
 - 遊撃隊 伊庭八郎コース 中寺町界限
 - 新撰組 土方歳三コース 下寺町界限
- ③修行コース
 - 侍極み 師匠宅・弟子入り修行
 - 技匠 刀鍛冶・武道具職人修行
 - 勝る 諸国武者修行
 - ロマン 和文化のプロ修業

<参考「平成29年度 大阪検定客員研究員発表」>
「発掘！幕末・明治 剣豪たちの足跡」

今後の課題

- 1 「大阪の撃剣興行と鏡心明智流」研究の学会発表
- 2 「大阪剣道プラットフォーム」の実現促進
- 3 「幕末・明治 剣豪・剣客 おおさか散歩」の普及
- 4 思わずやりたくなる剣道コンテンツの普及

主な参考文献

朝日新聞「聞蔵ビジュアル」

伊丹市立博物館所蔵の小西家史料

大阪あそ歩マップ

大阪府剣道連盟HP

大阪市立修道館HP

大林組歴史館所蔵の大阪武徳殿史料

『剣道日本』

国土交通省スポーツ庁HP

全日本剣道連盟HP

見世物興行年表 ほか



全日本剣道連盟HPより

剣道と観光で大阪を盛り上げましょう